

# 第2期新庄市保健事業実施計画 (データヘルス計画)

— 中間評価 —

令和 3年 3月

新 庄 市

# 目 次

第1章	保健事業実施計画（データヘルス計画）の中間評価にあたって	1
1	中間評価の趣旨	1
2	中間評価の方法	1
3	第2期保健事業計画の目的・目標	1
第2章	これまでの取組みの評価	2
1	個別保健事業に対する評価	2
(1)	特定健診受診率向上対策	2
(2)	糖尿病対策	5
(3)	重症化予防対策	7
(4)	医療費適正化対策	8
2	目標に対する中間評価	9
第3章	これからの保健事業	10
1	優先的に取り組むべき課題	10
2	保健事業の取組み	11
第4章	今後の予定と最終評価について	12
【資料編】		
	地域の健康に関する概況	13
1	人口の推移	13
2	平均余命と平均自立期間	14
3	死亡の状況	15
4	介護保険の状況	16
5	国民健康保険の概況	17
(1)	被保険者の状況	17
(2)	医療費の状況	18
(3)	生活習慣病全体のレセプト分析	21
	特定健康診査・特定保健指導の状況	23
1	特定健康診査の実施状況	23
(1)	特定健康診査受診率	23
(2)	特定健康診査結果	24
2	生活習慣の状況	26
3	特定保健指導の実施状況	27

# 第1章 保健事業実施計画(データヘルス計画)の中間評価にあたって

## 1 中間評価の趣旨

中間評価は、計画期間の中間年にあたる令和2年度に目標の達成状況の確認や進捗管理を行い、後半3年間に充実・強化すべき取組みを整理し、計画の推進を図るものです。

## 2 中間評価の方法

保健事業実施計画全体としての評価を行うため、保健事業実施計画を構成している個々の事業(個別保健事業)毎に評価することとし、計画策定時の値(ベースライン)と中間実績値(直近値)を比較し、改善状況によって4段階(a、b、c、d)で評価します。またその評価を基に目標や取組み方法、新たな課題や重点施策等について検討し、今後の事業の方針や取組みについて見直しを行います。

a：改善している      b：変わらない      c：悪化している      d：評価困難

「a：改善している」のうち、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものは「a\*」と記載する

## 3 第2期保健事業実施計画の目的・目標

(計画の目的) 『健康寿命の延伸、医療費の適正化』

- (重点健康課題)
1. 特定健診受診率が低く、特に若年層の受診率が低迷している。
  2. 血糖値の有所見者率が高く、未治療者の割合も高い。
  3. 慢性腎不全(透析あり)の医療費割合が非常に高く、糖尿病性腎症を重症化させる人が多い。
  4. 一人当たり医療費が年々増加している。

- (計画の目標)
1. 特定健診の受診率向上を図る
  2. 血糖値の有所見者割合を減少させる
  3. 生活習慣病による新規人工透析への移行を防ぐ
  4. 一人当たりの医療費の伸びを抑制する

## 第2章 これまでの取組みの評価

### 1 個別保健事業に対する評価

第2期データヘルス計画で掲げた課題に対応するため実施してきた個別の保健事業についての取組み状況を示します。

#### (1) 特定健診受診率向上対策

①特定健診未受診者対策																																										
目的	受診勧奨を強化し、新規受診者と継続受診者の増加により受診率を向上させる。																																									
内容	<p><b>○特定健診の実施体制</b></p> <p>【健診申込・意向調査】12月に全世帯へ「特定健診・がん検診等の申込書」を送付し、郵送で回収</p> <p>【通知方法】 集団健診：最上検診センターに委託      個別健診：市で送付 令和元年度まで：健診日の約1か月前に健診票を送付 令和2年度から：年度初めに全対象者へ健診票を送付し日程を事前周知</p> <p>【実施形態・場所・期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆集団健診 人間ドック、特定健診とがん検診のセット型の健診を中心に実施 最上検診センター（90回：内、休日健診4回、午後健診8回） 保健センター・わくわく新庄・菟野地区公民館（17回）</li> <li>◆個別健診 新庄徳洲会病院健康管理センター、きねぶち医院</li> <li>◆実施期間 4月～1月</li> </ul> <p>【受診状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>6,263人</td> <td>5,995人</td> <td>5,758人</td> <td>5,512人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">受診者数 (率)</td> <td>集 団</td> <td>2,580人 (41.2%)</td> <td>2,632人 (43.9%)</td> <td>2,622人 (45.5%)</td> <td>2,485人 (45.1%)</td> </tr> <tr> <td>個 別</td> <td>40人 (0.6%)</td> <td>36人 (0.6%)</td> <td>57人 (1.0%)</td> <td>66人 (1.2%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,620人 (41.8%)</td> <td>2,668人 (44.5%)</td> <td>2,904人 (46.5%)</td> <td>2,751人 (46.3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>○特定健診の受診勧奨</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆健診未申込者への受診勧奨 平成29年度までは、経年未受診者に電話による受診勧奨を実施 平成30年度からは、受診歴に応じ勧奨内容を変えた個別通知を国保連に委託</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業該当者</th> <th>事業対象者</th> <th>勧奨回数</th> <th>通知数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H30</td> <td>3,809人</td> <td>2,596人</td> <td>2回</td> <td>5,108通</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>3,460人</td> <td>1,462人</td> <td>3回</td> <td>3,100通</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆電話による受診勧奨 健診申込者への健診予定日前の受診確認の電話 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ドック予定者・・・最上検診センター</li> <li>・特定・がん検診予定者・・・市</li> </ul> </li> </ul>	実施年度	H28	H29	H30	R1	対象者数	6,263人	5,995人	5,758人	5,512人	受診者数 (率)	集 団	2,580人 (41.2%)	2,632人 (43.9%)	2,622人 (45.5%)	2,485人 (45.1%)	個 別	40人 (0.6%)	36人 (0.6%)	57人 (1.0%)	66人 (1.2%)	計	2,620人 (41.8%)	2,668人 (44.5%)	2,904人 (46.5%)	2,751人 (46.3%)		事業該当者	事業対象者	勧奨回数	通知数	H30	3,809人	2,596人	2回	5,108通	R1	3,460人	1,462人	3回	3,100通
実施年度	H28	H29	H30	R1																																						
対象者数	6,263人	5,995人	5,758人	5,512人																																						
受診者数 (率)	集 団	2,580人 (41.2%)	2,632人 (43.9%)	2,622人 (45.5%)	2,485人 (45.1%)																																					
	個 別	40人 (0.6%)	36人 (0.6%)	57人 (1.0%)	66人 (1.2%)																																					
	計	2,620人 (41.8%)	2,668人 (44.5%)	2,904人 (46.5%)	2,751人 (46.3%)																																					
	事業該当者	事業対象者	勧奨回数	通知数																																						
H30	3,809人	2,596人	2回	5,108通																																						
R1	3,460人	1,462人	3回	3,100通																																						

	<p>呼吸器検診通知に特定健診案内及び採尿容器を同封し郵送、更に電話で勧奨</p> <p>◆40歳代対象者への個別勧奨</p> <p>○健診の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報、ホームページ、健康だより等に掲載</li> <li>・ クーポン（乳がん・肝炎・歯周疾患）等対象者へのリーフレット送付</li> <li>・ 国保加入時における窓口での受診勧奨</li> <li>・ 医療証送付時に勧奨チラシを同封</li> </ul>																																							
<p>評価指標と実績判定</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th rowspan="2">目標値 (H35)</th> <th colspan="4">実績値</th> <th rowspan="2">指標判定</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話勧奨件数</td> <td>1,500件</td> <td>1,895</td> <td>2,239</td> <td>1,824</td> <td>1,320</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>特定健診受診率</td> <td>60%</td> <td>41.8</td> <td>44.5</td> <td>46.5</td> <td>46.3</td> <td>a*</td> </tr> <tr> <td>個別受診勧奨通知件数(委託)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5,108</td> <td>3,100</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>個別受診勧奨通知を行った者で受診した人数(割合%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>未把握</td> <td>451 (26.0)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	目標値 (H35)	実績値				指標判定	基準値	H29	H30	R1	電話勧奨件数	1,500件	1,895	2,239	1,824	1,320	c	特定健診受診率	60%	41.8	44.5	46.5	46.3	a*	個別受診勧奨通知件数(委託)	—	—	—	5,108	3,100	—	個別受診勧奨通知を行った者で受診した人数(割合%)	—	—	—	未把握	451 (26.0)	—
指 標	目標値 (H35)			実績値					指標判定																															
		基準値	H29	H30	R1																																			
電話勧奨件数	1,500件	1,895	2,239	1,824	1,320	c																																		
特定健診受診率	60%	41.8	44.5	46.5	46.3	a*																																		
個別受診勧奨通知件数(委託)	—	—	—	5,108	3,100	—																																		
個別受診勧奨通知を行った者で受診した人数(割合%)	—	—	—	未把握	451 (26.0)	—																																		
<p>振り返り</p>	<p>【達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受診率向上を重点課題として担当外からのマンパワーを確保し、電話による受診勧奨に取組んだ。</li> <li>・ 平成30年度から特定健診受診率向上業務を委託し、対象者の特性にあわせて通知したことで受診勧奨効果を高めた。</li> <li>・ 健診日程変更等の調整について検診機関との連絡を密に行い、日程の確保に努めた。</li> <li>・ 感染防止対策で実施した受付時間の分割は、混雑や待ち時間の短縮につながり受診者の満足感につながった。(令和2年度)</li> </ul> <p>【未達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度については、呼吸器検診対象者への電話勧奨未実施も要因となった。</li> <li>・ 通院治療中であれば健診受診の必要はないと思っている人が多い。</li> <li>・ 国保加入手続き時の受診勧奨について窓口での対応が統一されていなかった。</li> <li>・ 令和元年度においては、健診委託機関のシステム不調により健診票発送業務の遅れや日程変更の不備が生じ、申込み者のキャンセルにつながったと考えられる。</li> </ul>																																							
<p>見直し・改善案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別受診勧奨業務(委託)を継続する。通知対象者の選定等、より効果的な実施方法について委託先と協議しすすめる。</li> <li>・ 健診事前電話を継続し、健診申込者を確実に受診につなげる。</li> <li>・ 国保加入手続き時の健診受診勧奨を強化する。</li> <li>・ 受診率の低い40.50代に対する普及啓発、受診勧奨をすすめる。</li> <li>・ 医療機関との連携(医師からの受診勧奨)をすすめる。</li> <li>・ みなし健診(治療中者の検査データの活用)について検討する。</li> </ul>																																							

## ②早期介入保健指導

目的	若年期からの健康意識の向上と生活習慣の改善を図る。 継続した受診行動を促し、40歳以降の特定健診の継続受診につなげる。																																																															
内容	<p><b>○健康診査の実施</b></p> <p>【対象者】30～39歳の国民健康保険被保険者</p> <p>【検査項目】特定健診に準じた内容で実施（無料）</p> <p>【実施場所・期間】 集団健診 最上検診センターほか 5～12月</p> <p>【実施方法】リーフレット及び案内を送付し、申込み書で受付 未申込者へ、文書及び電話での再勧奨を実施</p> <p><b>○保健指導の実施</b></p> <p>【対象者】①特定保健指導の基準に合わせ保健指導を実施 ②①以外の対象者にも面談により保健指導を実施</p> <p>【実施体制】①最上検診センターに業務委託 ②①以外は、市で実施</p> <p>【受診状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者数</td> <td>602</td> <td>537人</td> <td>473人</td> </tr> <tr> <td>受診者数（率）</td> <td>107人(17.8%)</td> <td>87人(16.2%)</td> <td>90人(18.8%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">再掲</td> <td>2年連続受診</td> <td>—</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>3年連続受診</td> <td>—</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>40歳以降に特定健診受診につながった人数</td> <td>—</td> <td>12人/18人 (66.7%)</td> <td>19人/31人 (61.3%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【保健指導状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">特定保健指導</th> <th colspan="2">結果説明（市）</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>検診センター</th> <th>市</th> <th>計</th> <th>面談</th> <th>電話</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29</td> <td>28人</td> <td>24人</td> <td>3人</td> <td>27人(96.4%)</td> <td>20人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>21人</td> <td>12人</td> <td>7人</td> <td>19人(90.5%)</td> <td>47人</td> <td>12人</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>18人</td> <td>7人</td> <td>9人</td> <td>16人(88.9%)</td> <td>67人</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>								H29	H30	R1	対象者数	602	537人	473人	受診者数（率）	107人(17.8%)	87人(16.2%)	90人(18.8%)	再掲	2年連続受診	—	42人	3年連続受診	—	24人	40歳以降に特定健診受診につながった人数	—	12人/18人 (66.7%)	19人/31人 (61.3%)		特定保健指導				結果説明（市）		対象者	検診センター	市	計	面談	電話	H29	28人	24人	3人	27人(96.4%)	20人	15人	H30	21人	12人	7人	19人(90.5%)	47人	12人	R1	18人	7人	9人	16人(88.9%)	67人	0人
	H29	H30	R1																																																													
対象者数	602	537人	473人																																																													
受診者数（率）	107人(17.8%)	87人(16.2%)	90人(18.8%)																																																													
再掲	2年連続受診	—	42人																																																													
	3年連続受診	—	24人																																																													
40歳以降に特定健診受診につながった人数	—	12人/18人 (66.7%)	19人/31人 (61.3%)																																																													
	特定保健指導				結果説明（市）																																																											
	対象者	検診センター	市	計	面談	電話																																																										
H29	28人	24人	3人	27人(96.4%)	20人	15人																																																										
H30	21人	12人	7人	19人(90.5%)	47人	12人																																																										
R1	18人	7人	9人	16人(88.9%)	67人	0人																																																										
評価指標と実績判定	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th rowspan="2">目標値 (H35)</th> <th colspan="4">実績値</th> <th rowspan="2">指標判定</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診勧奨通知</td> <td>2回</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>40～44歳特定健診受診率</td> <td>34%</td> <td>26.3</td> <td>27.2</td> <td>32.5</td> <td>30.0</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>							指標	目標値 (H35)	実績値				指標判定	基準値	H29	H30	R1	受診勧奨通知	2回	—	2	2	2	a	40～44歳特定健診受診率	34%	26.3	27.2	32.5	30.0	a																																
指標	目標値 (H35)	実績値				指標判定																																																										
		基準値	H29	H30	R1																																																											
受診勧奨通知	2回	—	2	2	2	a																																																										
40～44歳特定健診受診率	34%	26.3	27.2	32.5	30.0	a																																																										
振り返り	<p>【達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受診歴のある未申込者へ電話勧奨し、継続受診につなげた。</li> </ul> <p>【未達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>健診申込に申込み書の提出を求めており、対象者の手間になっている。</li> <li>対象者やその家族に健診の意義や必要性が伝わっていない。</li> </ul>																																																															
見直し・改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>健診申込み手続きを、文書から電話へ切り替えて簡素化する。(R2～)</li> <li>通知文書の内容の見直しを図り、男女の特性にあわせた内容にする。</li> <li>早期受診者が、継続して特定健診を受診しているか経過を追跡する。</li> </ul>																																																															

## (2) 糖尿病対策

①特定保健指導																																						
目的	特定健診の結果、特定保健指導が必要となった対象者を確実に保健指導につなげることで、生活習慣の改善をはかり糖尿病等のリスクを軽減する。																																					
内容	<p>【対象者】特定健診結果・質問票から、生活習慣の改善を要する方で、専門職による継続的な支援を必要とする者</p> <p>【実施方法】最上検診センターを健診会場とする場合は、当日階層化・初回面談 他会場の場合は結果送付後に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的支援・・・個別指導及び電話・レター支援</li> <li>・動機づけ支援・・・個別指導及び電話支援</li> <li>・情報提供・・・特定健診結果と併せて健康栄養相談等の案内を送付</li> </ul> <p>【内容】国の定める基準に基づき実施</p> <p>【実施体制】最上検診センターが健診会場の場合は、最上検診センターに委託 その他は、市が実施（保健センター定期相談日の利用）</p>																																					
評価指標と実績判定	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th rowspan="2">目標値 (H35)</th> <th colspan="4">実績値</th> <th rowspan="2">指標 判定</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定保健指導利用率</td> <td>80%</td> <td>88.4</td> <td>76.1</td> <td>68.9</td> <td>65.3</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導実施率</td> <td>75%</td> <td>74.4</td> <td>69.1</td> <td>57.6</td> <td>58.7</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>特定保健指導対象者の減少率</td> <td>25%</td> <td>24.7</td> <td>16.7</td> <td>22.5</td> <td>17.9</td> <td>C</td> </tr> </tbody> </table>						指 標	目標値 (H35)	実績値				指標 判定	基準値	H29	H30	R1	特定保健指導利用率	80%	88.4	76.1	68.9	65.3	C	特定保健指導実施率	75%	74.4	69.1	57.6	58.7	C	特定保健指導対象者の減少率	25%	24.7	16.7	22.5	17.9	C
指 標	目標値 (H35)	実績値				指標 判定																																
		基準値	H29	H30	R1																																	
特定保健指導利用率	80%	88.4	76.1	68.9	65.3	C																																
特定保健指導実施率	75%	74.4	69.1	57.6	58.7	C																																
特定保健指導対象者の減少率	25%	24.7	16.7	22.5	17.9	C																																
振り返り	<p>【達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者のモチベーションが高い健診当日に初回面談を設定することで、利用につながった。</li> <li>・当日階層化できない受診者には、腹囲やBMI、血圧などの情報により、初回面談を分割して行った。</li> <li>・利用者のニーズに合わせ柔軟な保健指導を行うことで、保健指導の継続を促した。</li> </ul> <p>【未達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用歴のある対象者に指導を拒否する人が多くなっている。</li> <li>・指導対象が集中し待ち時間が長くなると指導を断る人がいる。</li> <li>・指導を拒否した人へ再勧奨するなどの工夫をしていない。</li> <li>・特定保健指導を行う安定した人員体制がとれていない。（市実施分）</li> </ul>																																					
見直し・改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診当日の初回面談と、初回面談の分割実施を継続する。</li> <li>・新規指導対象者の実施率を高める。</li> <li>・個別健診受診者の保健指導実施率の向上を図るため委託医療機関と検討を行う。</li> <li>・支援ソフトの導入により対象者にわかりやすい教材を提供し、保健指導の効果を高める。</li> </ul>																																					

②健康相談																																																													
目的	特定健診の結果や心身の健康に関する相談に対し、個々の状況に応じた助言や指導を行い、生活習慣改善に取り組むよう支援する。																																																												
内容	<p>【対象者】市民</p> <p>【実施方法】健診時健康相談 施設外健診時（17回）  定期健康相談（毎週金曜日 9：00～11：30）  電話・来所相談（随時）</p> <p>【保健指導状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">定期</th> <th colspan="2">重点</th> <th colspan="2">一般・その他</th> <th colspan="2">計</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>34</td> <td>58</td> <td>47</td> <td>108</td> <td>31</td> <td>225</td> <td>112</td> <td>391</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>32</td> <td>67</td> <td>34</td> <td>87</td> <td>55</td> <td>143</td> <td>121</td> <td>297</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>49</td> <td>61</td> <td>21</td> <td>147</td> <td>63</td> <td>201</td> <td>112</td> <td>409</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>49</td> <td>65</td> <td>37</td> <td>140</td> <td>81</td> <td>173</td> <td>130</td> <td>378</td> </tr> </tbody> </table>									定期		重点		一般・その他		計		回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	H28	34	58	47	108	31	225	112	391	H29	32	67	34	87	55	143	121	297	H30	49	61	21	147	63	201	112	409	R1	49	65	37	140	81	173	130	378
	定期		重点		一般・その他		計																																																						
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数																																																					
H28	34	58	47	108	31	225	112	391																																																					
H29	32	67	34	87	55	143	121	297																																																					
H30	49	61	21	147	63	201	112	409																																																					
R1	49	65	37	140	81	173	130	378																																																					
評価指標と実績判定	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th rowspan="2">目標値 (H35)</th> <th colspan="4">実績値</th> <th rowspan="2">指標判定</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>400件</td> <td>391</td> <td>297</td> <td>409</td> <td>378</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>HbA1c 有所見者割合</td> <td>60%</td> <td>73.4</td> <td>70.2</td> <td>68.0</td> <td>74.9</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>								指標	目標値 (H35)	実績値				指標判定	基準値	H29	H30	R1	相談件数	400件	391	297	409	378	b	HbA1c 有所見者割合	60%	73.4	70.2	68.0	74.9	c																												
指標	目標値 (H35)	実績値				指標判定																																																							
		基準値	H29	H30	R1																																																								
相談件数	400件	391	297	409	378	b																																																							
HbA1c 有所見者割合	60%	73.4	70.2	68.0	74.9	c																																																							
振り返り	<p>【達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の関心が高まっている健診当日に健康相談を行うことで、生活習慣改善の動機づけの機会となった。</li> </ul> <p>【未達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病に特化した相談や、血糖値有所見者を対象とした勧奨をしておらず、健康相談の機会の提供に留まった。</li> </ul>																																																												
見直し・改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>血糖値有所見者を階層化し、階層ごとのアプローチ方法について検討する。</li> <li>教室開催によるグループ支援、個別相談の充実を図る。</li> <li>健康増進事業における運動習慣の定着等一次予防事業と連動した働きかけを行う。</li> <li>アウトプット指標として設定している「健康相談件数」の目標値を血糖値有所見者に対する相談件数に改める。</li> </ul>																																																												



### (3) 重症化予防対策

重症化予防事業																																													
目的	特定健診の結果から糖尿病や慢性腎臓病が重症化するリスクが高い者を確実に医療機関の受診につなげ継続治療を促すことで、腎不全、人工透析等の重症化予防を図る。																																												
内容	<p>【対象者】①～③のいずれかに該当する者のうち、受診確認できなかった者</p> <p>① 次のアに該当し、かつイ又はウのいずれかに該当する者            ア 空腹時血糖 126 mg/dl 以上又は HbA1c 6.5% 以上            イ eGFR 60ml/分/1.73 m<sup>2</sup>未満 ウ 尿蛋白 陽性 (+) 以上</p> <p>② eGFR 45ml/分/1.73 m<sup>2</sup>未満の者</p> <p>③ HbA1c 7% 以上で①に該当しない者 ※①②県基準 ③市独自基準</p> <p>【実施方法】</p> <p>健診データから県基準・市独自のハイリスク該当者を選定し、レセプトデータの照合等により受診を確認できなかった者に対し、電話や面談等により受診勧奨及び保健指導を行う。</p> <p>指導教材は、対象者の状態に応じて選定する。</p>																																												
評価指標と実績判定	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th rowspan="2">目標値 (H35)</th> <th colspan="4">実績値</th> <th rowspan="2">指標判定</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診勧奨者数</td> <td>105人⇒25人</td> <td>89</td> <td>100</td> <td>17</td> <td>26</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td>勧奨により受診した割合</td> <td>75%</td> <td>59.6</td> <td>44.0</td> <td>29.4</td> <td>57.1</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>保健指導実施率</td> <td>90%</td> <td>71.0</td> <td>77.3</td> <td>100</td> <td>92.9</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>新規人工透析導入者数</td> <td>10人</td> <td>11</td> <td>15</td> <td>17</td> <td>7</td> <td>d</td> </tr> </tbody> </table>						指標	目標値 (H35)	実績値				指標判定	基準値	H29	H30	R1	受診勧奨者数	105人⇒25人	89	100	17	26	d	勧奨により受診した割合	75%	59.6	44.0	29.4	57.1	b	保健指導実施率	90%	71.0	77.3	100	92.9	a	新規人工透析導入者数	10人	11	15	17	7	d
指標	目標値 (H35)	実績値				指標判定																																							
		基準値	H29	H30	R1																																								
受診勧奨者数	105人⇒25人	89	100	17	26	d																																							
勧奨により受診した割合	75%	59.6	44.0	29.4	57.1	b																																							
保健指導実施率	90%	71.0	77.3	100	92.9	a																																							
新規人工透析導入者数	10人	11	15	17	7	d																																							
振り返り	<p>【達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診勧奨の対象者を平成30年度からレセプトデータを用いて絞り込んだことで、踏み込んだ指導と受診勧奨を行うことができた。</li> <li>・経年で未受診者を追跡し受診勧奨を行い、受診につなげることができた。</li> </ul> <p>【未達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健診結果が出てから受診勧奨するまでのタイムラグがある。</li> <li>・対象者が理解しやすい指導スキルや教材の不足が考えられる。</li> <li>・医療機関との連携による保健指導件数が少ない。</li> <li>・医療機関受診の結果「治療必要なし」イコール「正常（全く問題なく、対策の必要なし）」と認識し、生活習慣の改善につながらないケースがみられる。</li> </ul>																																												
見直し・改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の独自基準を加えた市単独の回報書発行を検討する。</li> <li>・地区医師会に事業についての理解と協力を求める。</li> <li>・かかりつけ医、専門医、行政連携システムが機能するよう対応を検討する。</li> <li>・治療中断者のレセプトデータの確認、対応等国保医療室と検討する。</li> <li>・健診情報とレセプト情報を併せた情報管理を効率的に行うための支援ソフトを導入する。また、より対象者にわかりやすい教材を提供することで、保健指導の効果を高める。</li> <li>・重症化予防対策の対象者を見直し、拡大に向け検討を行う。</li> </ul>																																												

#### (4) 医療費適正化対策

ジェネリック医薬品差額通知																																						
目的	ジェネリック医薬品に切り替えた場合の一部負担金の差額を通知し、利用を促進することで医療費の適正化を図る。																																					
内容	<p>【対象者】ジェネリック医薬品に切り替えた場合、一部負担金が月額 100 円以上の軽減が見込まれる被保険者</p> <p>【実施方法】3月分と9月分の処方実績からそれぞれ8月と1月の年2回通知する。ジェネリック医薬品利用促進に関する啓発チラシを併せて郵送する。</p>																																					
評価指標と実績判定	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th rowspan="2">目標値 (H35)</th> <th colspan="4">実績値</th> <th rowspan="2">指標判定</th> </tr> <tr> <th>基準値</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>差額通知件数</td> <td>1,500 件</td> <td>1,007</td> <td>943</td> <td>2,022</td> <td>1,703</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック医薬品利用割合</td> <td>83.5%</td> <td>75.1</td> <td>76.1</td> <td>79.1</td> <td>80.8</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>一人当たり医療費伸び率</td> <td>4.2%</td> <td>5.7</td> <td>4.2</td> <td>2.7</td> <td>△1.2</td> <td>d</td> </tr> </tbody> </table>						指 標	目標値 (H35)	実績値				指標判定	基準値	H29	H30	R1	差額通知件数	1,500 件	1,007	943	2,022	1,703	a	ジェネリック医薬品利用割合	83.5%	75.1	76.1	79.1	80.8	a	一人当たり医療費伸び率	4.2%	5.7	4.2	2.7	△1.2	d
指 標	目標値 (H35)	実績値				指標判定																																
		基準値	H29	H30	R1																																	
差額通知件数	1,500 件	1,007	943	2,022	1,703	a																																
ジェネリック医薬品利用割合	83.5%	75.1	76.1	79.1	80.8	a																																
一人当たり医療費伸び率	4.2%	5.7	4.2	2.7	△1.2	d																																
振り返り	<p>【達成要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・差額通知により、ジェネリック医薬品使用のメリットが被保険者に認知されるようになった。</li> <li>・平成 30 年度から、差額を 300 円以上から 100 円以上に変えることで、通知対象者を拡大した。</li> </ul> <p>【未達成要因】</p>																																					
見直し・改善案	医療費全体に占める調剤費の割合は約 2 割であり、ジェネリック医薬品の利用による医療費全体に与える影響は部分的に過ぎないことから、個別保健事業の成果指標として「一人当たり医療費の伸び率」は、削除する。																																					

## 2 計画全体の評価（目標に対する中間評価）

データヘルス計画の目的である『健康寿命の延伸、医療費の適正化』に向け設定した目標の達成状況を示します。

計画の目標	1. 特定健診の受診率向上を図る 2. 特定健診結果の血糖値の有所見者割合を減少させる 3. 生活習慣病による新規人工透析への移行を防ぐ 4. 一人当たりの医療費の伸びを抑制する						
指標の評価	主な指標	目標値 (R5)	基準値 (H28)	実績値			判断等
				H29	H30	R元	
	特定健診受診率	60%	41.8	44.5	46.7	46.3	a*
	HbA1c有所見者割合	60%	73.4	70.2	68.0	74.9	c
	新規人工透析導入患者数（年間）	10人	11	15	17	7	d
一人当たり医療費の対前年度伸び率	4.2%	5.7	4.2	2.8	△1.2	d	
指標の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診受診率については改善がみられるが、目標値との乖離が大きく最終評価までには目標達成が危ぶまれる状況である。</li> <li>・HbA1c有所見者割合は、基準値よりも悪化している。</li> <li>・新規人工透析導入患者数は目標値に達しているが、経年の数値の変動が大きいいため、現段階での評価は困難と判断した。</li> <li>・一人当たり医療費の対前年度伸び率は減少している。医療費は保健事業以外にも様々な要因が関連するため、現段階での評価は困難と判断した。</li> </ul>						
達成につながる取組 ・要素	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別受診勧奨通知（業務委託）の導入により、より効率的・効果的な受診勧奨ができる。</li> <li>・治療中者を特定健診受診につなぐ。</li> <li>・保健指導を効率的・効果的に実施するための体制の充実・強化が必要である。</li> </ul>						
未達成につながる背景・要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院治療中を理由とする健診未受診者が多数存在する。</li> <li>・健診業務の比重が大きく、保健指導等を効果的にすすめる体制が弱い。</li> <li>・健康づくりや生活習慣改善等、一次予防に取組む意識が市民に浸透していないと考えられる。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え、健康二次被害等の発生が懸念される。</li> </ul>						
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の目標達成を目指し、引き続き個別保健事業の取組みを推進する。特に、判定がb、cとなった個別保健事業については、事業の見直しと改善策の実施により目標達成を目指す。</li> <li>・保健指導に係る実施体制の充実・強化を図る。</li> <li>・健康増進事業と連動させ、運動・減塩・禁煙・口腔等の課題に対応し、生活習慣病の一次予防を推進する。</li> <li>・特定健診の受診率向上、重症化予防対策の推進等において、医療機関との連携をすすめる。</li> </ul>						

## 第3章 これからの保健事業

### 1 優先的に取り組むべき課題

#### (1) 特定健診受診率向上

未受診者対策の強化により一定の成果が出ていますが、最終目標値とは大きく乖離しています。また、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えによって受診者数の減少が見込まれています。コロナ禍による健康状態の悪化の影響も懸念されることから、未受診者の健診への取り込みが重要です。

40～50歳代の受診率が低く、早期からの生活習慣改善の機会を逃している人が多数存在しています。30歳代の健康診査・保健指導を継続実施し、40歳以降の特定健診受診につなげていく必要があります。

対象者の高齢化により通院治療中による健診未受診者が増える可能性があります。かかりつけ医による個別健診の拡大、みなし健診の実施についても今後の検討課題です。

#### (2) 保健指導體制の強化・重症化予防

特定保健指導は、健診当日の初回面談を行うことで対象者が利用しやすい体制をとってきましたが、利用率、終了率ともに減少しており、また、対象者の減少率も目標に達していません。

健診の結果では、血糖値の有所見者率が高いままで、改善がみられていません。血圧、脂質等の有所見者率も増加傾向にあり、全国平均を上回っています。これらの有所見者に占める未治療者の割合も高くなっています。特定保健指導対象以外にも重症化リスクの高い層が多数存在することから、限られたマンパワーで効率的・効果的な保健指導を実施するための体制整備が必要です。

また、重症化の予防には、かかりつけ医、専門医、行政との連携をすすめていく必要があります。

#### (3) 生活習慣病の一次予防の推進

悪性新生物（死因第1位）を除く主な生活習慣病による死亡率は、県・全国より高く、虚血性心疾患と脳出血の死亡率の上昇がみられます。また、健診の問診項目から「喫煙率が県・全国平均を上回る」「身体活動・運動不足の人が約8割存在する」など、優先的に改善すべき生活習慣の課題があげられますが、約7割の受診者に「保健指導を利用しない」と消極的・否定的な回答がみられます。

健診受診率の向上・保健指導による重症化の予防と平行して、広く被保険者に主体的な健康づくりを支援する環境を整備し、健康づくり・一次予防の機運を高めていく必要があります。

## 2 保健事業の取組み

### (1) 特定健診受診率向上対策

事業名	主な取組み	R3-R5	最終目標値
特定健診未受診者対策	個別受診勧奨通知（委託） 電話勧奨 個別健診拡大・みなし健診導入の検討	継続 継続 新規	特定健診受診率 60%
早期介入保健指導事業	30歳代への健康診査と保健指導の実施	継続	40-44歳受診率 34%

### (2) 糖尿病対策

事業名	主な取組み	R3-R5	最終目標値
特定保健指導	初回面談と初回面談分割実施 わかり易い教材の提供（支援ソフトの導入）	継続 新規	保健指導実施率 75% 対象者の減少率 25%
健康相談	定期健康相談の利用促進と対象に合わせた相談の設定 健康教室及びグループ支援 わかり易い教材の提供（支援ソフトの導入）	継続 新規 新規	HbA1c 有所見者割合 60%

### (3) 重症化予防対策

事業名	主な取組み	R3-R5	最終目標値
重症化予防事業	糖尿病・慢性腎臓病重症化予防（*） 上記（*）以外のハイリスク者への介入 情報管理の効率化とわかり易い教材の提供（支援ソフトの導入） かかりつけ医・専門医・行政の連携の推進	継続 拡充 新規	受診勧奨により受診 75% 新規人工透析患者数 10人

### (4) 医療費適正化対策

事業名	主な取組み	R3-R5	最終目標値
ジェネリック医薬品差額通知	年2回差額通知を実施 チラシ・広報を活用した周知啓発	継続	ジェネリック利用割合 83.5%

### (5) その他の保健事業

事業名	主な取組み
がん検診等	・各種がん検診等の実施 ・受診率と精密検査受診率の向上
健康教育	・健康づくり・生活習慣病予防の普及啓発 ・受動喫煙対策・禁煙支援・ ・関係課との連携による運動習慣定着の推進
食育・食生活改善	・食生活改善推進協議会と協働による減塩等の食生活改善の推進

かむてん健康マイレージ事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりの実践と成果にポイントを付与し支援</li> <li>・関係課との連携による運動習慣定着に向けた事業の展開</li> </ul>
重複・頻回受診者訪問事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複・頻回受診者への訪問指導、健康相談</li> </ul>
口腔衛生意識普及啓発・8020 運動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる歯科保健の推進、歯周疾患予防啓発</li> <li>・歯科医師会との連携</li> </ul>

## 第4章 今後の予定と最終評価

---

### 計画の評価・見直し

計画はPDCAサイクルに基づき、保健事業を毎年継続的に実施します。計画の最終年度である令和5年度には、設定した評価指標を基に、目標の達成状況の評価を行い次期計画に反映させます。